

「第3期士別市子ども・子育て支援事業計画」(案)に対するパブリックコメントの実施結果

「第3期士別市子ども・子育て支援事業計画」の素案について、「士別市パブリックコメント実施要綱」にもとづき意見を募集したところ、次の意見をいただきました。

つきましては、その意見に対する本市の考え方を取りまとめましたので公表します。

1 パブリックコメントの実施状況

【計画名】

(1) 第3期士別市子ども・子育て支援事業計画(案)

【募集期間】 令和7年2月5日(水)～3月6日(木)

【意見提出者数】 1名

【提出方法】 電子申請

【担当部署】 健康福祉部子ども・子育て応援課

2 意見の概要と市の考え方

寄せられた意見	市の考え方
【子どもたちの切れ目のない支援に向けて】 ●私は学校の関係者であり、気になることがあったため意見を述べさせていただきます。 まだまだサポートが必要と思われる子が、小学校卒業とともに「ことばの教室」を退級しています。中学校・高校での不登校やいじめの対策として、中学校の「ことばの教室」またはそれに近いものがあったらいいなと思っています。地域によっては、小学校のことばの教室担当者が中学校へ巡回しているところもあります。 ●一方、「ことばの教室」の担当者が校内人事で決まるため、体制が一定ではありません。「のぞみ園」のようにいつでも安心なサポートができたらいと思うのですが、新採用の若い先生や、特別支援の経験が浅い人が配置されるなど不安定です。 ●子どもたちの切れ目のない支援に向けて何かできればと思っています。	「ことばの教室」などの通級指導教室の設置や教員配置については、北海道教育委員会の判断によるものであり、本市の「ことばの教室」利用者数などを踏まえると、現時点では、中学校の通級指導教室の「開設」や小学校の教員による「巡回」を行うことは難しいと考えます。 これまで、中学校に進学してからもサポートが必要な子どもに対しては、進学先の中学校・関係機関等が連携するなどして、保護者理解も得ながら支援等を行ってきたところです。 いじめ・不登校の問題や高校への進学については、中学校での通級指導教室を開設することも一案と考えますので、今後も本市生徒の状況を把握するとともに、引き続き学校や関係機関と連携して、支援等の取り組みを行っていきます。 現在、「のぞみ園」では、就学後の保護者を対象とした茶話会を開催しており、就学後も保護者からの相談を受け付けできる体制にあります。 また、就学後にも支援が必要な子どもに関しては、児童相談支援センター「虹」が学校との情報共有・連携を行っていますので、必要に応じて「のぞみ園」や「放課後等デイサービスセンター」につなげていきます。

寄せられた意見	市の考え方
	本計画案には、「２－３障がい児支援施策の充実」の具体的事業に「関係機関との連携」により支援体制の充実に努めるとしており、ご意見を踏まえて担当課にこども・子育て応援課に加え、学校教育課を加えます。